

第1回 揖保川流域治水協議会 議事概要

日時：令和2年8月24日（月）14:00 ～ 15:00

場所：WEB 会議システム上

出席者：別添構成員名簿参照

■議事次第

1. 挨拶
2. 議事
 - (1) 「流域治水」について
 - (2) 設立主旨、規約について
 - (3) 「流域治水」の取り組み事例について
 - (4) 今後の取り組みについて
3. 閉会

■議事内容

(1) 「流域治水」について

資料1に基づき、姫路河川国道事務所調査課（以下「事務局」という）より説明が行われた。

(2) 設立主旨、規約について

資料2に基づき、事務局より説明が行われ、第3条3項の記載内容を「その他の揖保川流域内関係自治体」から「その他の揖保川流域内関係機関」に変更することを提案し、承認された。

(3) 「流域治水」の取り組み事例について

資料3に基づき、兵庫県より西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画の取り組み事例について紹介された。また、兵庫県からは、「総合治水と流域治水は、名前がよく似ているので県民から見ると混乱が起きないように分かりやすく、また、進むべき方向性は同じであるため、効果的・効率的に進めて頂きたい」との意見があった。

(4) 今後の取り組みについて

資料4に基づき、事務局より、令和2年9月末までに「河川対策」をとりまとめ、令和2年度末までに揖保川流域治水プロジェクトを策定し、公表予定であることが説明された。

また、第2回協議会は9月末、第3回協議会は3月末に開催予定であることも説明され

た。

(5) その他

構成員より流域治水について以下の発言があった。

- ハード・ソフト両面の事前防災対策が非常に重要だと考えている。ともに流域治水プロジェクトを進めていく上で、市民に分かりやすい方法を示していくことが大切だと考えている。
- 揖保川流域全体の関係機関が情報共有を図り、連携しながら流域治水プロジェクト等に取り組み、本町の防災対策も推進していきたい。
- 流域治水プロジェクトができることで、他の流域市町の取り組み等の状況が共有されるので、本市においても参考になると考えている。
- 流域全体で連携しながら治水対策に取り組んでいくことが重要であると認識している。流域全体の関係者と情報共有し、協働しながら揖保川の治水対策に取り組んでいきたい。

以 上